

12月7日大雪

コカブに覆土してはいけない



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm



暖かい晴れの日が続きます。小蕪はタキイのスワン。石割さんが何種類もの小蕪を試して、京都の気候と本家石割農園の土壌、施肥に最も適する品種としてスワンを選んだ、もっといいものもあるけど、とのこと。毎年、新人は地表に並んだ小蕪の列を覆土して埋めようとする、そして石割さんに怒られる。蕪を埋めると虫に喰われ、土で肌に傷がつく由。圃場で採りたての小蕪、水で洗い指で皮を剥いてひと噛みすると、地際の成り物とは思えないエステルの香りと遠慮がちな甘みが満ちてくる、煮たり焼いたりする必要なし。生で嚙るのが一番美味しい、